

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第127回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第128回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第50回総会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第127回運営委員会議事録

日 時：2018年9月26日(水) 15:00 - 17:00

運営委員会委員：

出席者 16名

荒川 政彦, 中本 泰史, 中村 昭子, 渡邊 誠一郎, 千秋 博紀, 和田 浩二, 田近 英一, 生駒 大洋,
諸田 智克, 林 祥介, 平田 成, はしもと じょーじ, 竹広 真一, 中島 健介, 寺田 直樹, 上野 宗孝,
欠席者 7名

倉本 圭, 田中 智, 佐伯 和人, 中村 智樹, 藪田 ひかる, 小久保 英一郎, 橘 省吾
(委任状：議長6通)

議題・報告事項：

1. シニア会員について

- ・ 諸田総務専門委員長からシニア会員制度を反映した会則の改定案について説明があった。
- ・ 第2章第5条4項にシニア会員を追記。除籍経験に関する記載は入会ページに記載することとし、会則には記載しない。
- ・ 第3章第12条3項について、原案では、シニア会員は総会の議決権はないが、運営委員になることはでき、運営委員会での議決権を有することになる。これを避けるためシニア会員は運営委員にはなれないこととする。
- ・ 第3章第12条2項、副会長の選出について「正会員の中から」を追加する。
- ・ 上記修正を反映した会則を次回総会にかけることとする。
- ・ シニア会員制度開始時期についての案を総務専門委員、情報化専門委員、財務専門委員会で次回運営委員会までに作成する。

2. EPSについて

- ・ 生駒欧文誌専門委員長からEPS誌の財政展望について説明があった。
- ・ H30は科研費不採択のため赤字となるが、新契約による出版収入還元によりH32より単年度黒字が見込まれる。
- ・ H30は学会からの融資が依頼されている。1年分の分担金相当。黒字となった際に返金される。
- ・ PEPSと共同で科研費申請はしないこととなった。

- ・これまでの合意事項が守られないなどの現状の運営方法や、惑星科学分野の投稿数が少なく、かつ今後の財政方針によりさらに割合が減少すると考えられることから、融資に反対意見がでた。
- ・荒川会長から現状の運営方法についての改善を5学会長会議に求める。

3. マスタープランについて

- ・中本将来構想検討作業部会長より現状報告があった。
- ・マスタープランの提案をomlで受け付け、6件の提案があった。
- ・秋季講演会で議論した上で、惑星科学会から推薦する提案について議論していく予定。
- ・件数に制限はなく、絞ることを前提としない。

4. 新しい選挙規定による役員選挙について

- ・諸田総務専門委員長から第15期役員選挙について説明があった。
- ・荒川会長から選挙管理委員長に諸田智克会員、委員に平田成会員、長沢真樹子会員、奥住聡会員、谷川享行会員、保井みなみ会員、小林浩会員、北里宏平会員が選出され、いずれも承認された。
- ・選挙日程は下記とする。
 - 9/26(水)：選挙管理委員会発足
 - 10/22(月)：会長候補者の推薦・募集開始(当初案から3日前倒し)
 - 11/11(日)：同終了(当初案から3日前倒し)
 - 11/19(月)：役員選挙公示・投票受付開始(当初案から3日前倒し)
 - 12/9(日)：同終了(当初案から3日前倒し)
 - 12/21～28：運営委員会(書面：役員の選出)
 - 1/9(水)：会計監事候補者公示・信任投票受付開始
 - 1/11～19：運営委員会(書面：委員の承認)
 - 2/7(木)：会計監事候補者公示・信任投票受付終了

5. RFI回答の改訂について

- ・千秋惑星探査専門委員長より現状報告があった。
- ・毎年度修正する方針としている。
- ・主査は倉本圭会員、事務局を玄田英典会員とする。
- ・秋季講演会前日に議論することとした。20名程度の参加者を予定している。
- ・その後の改定作業として、1月早々の改定を目指す。

6. 自然災害に伴う会費免除措置等について

- ・竹広財務専門委員長から会費免除措置について説明があった。
- ・今年度は災害増のため申請者が多数になる可能性がある。
- ・申請時に被害状況を記載することとする。

7. 国際宇宙探査専門委員会の報告

荒川会長から国際宇宙探査専門委員会の報告があった。

◇日本惑星科学会第128回運営委員会議事録

日 時：2018年10月17日(水) 18:40 - 21:00

場 所：旭川市科学館サイバル 2階 理科実験室

運営委員：

出席 18名

荒川 政彦, 倉本 圭, 中本 泰史, 中村 昭子, 千秋 博紀, 生駒 大洋, 諸田 智克, 林 祥介, 平田 成,
はしもと じょーじ, 竹広 真一, 中島 健介, 田中 智, 寺田 直樹, 佐伯 和人, 中村 智樹, 上野 宗孝,
小久保 英一郎

欠席 5名

渡邊 誠一郎, 和田 浩二, 田近 英一, 藪田 ひかる, 橋 省吾
(委任状：議長5通)

議題・報告事項：

1. 会計第14期下期中間報告(竹広財務専門委員長)

- ・収入は例年通り。
- ・支出については遊星人が3号までで印刷費140万, 今年度見込み176万円。このため決算は大幅黒字にはならない見通し。
- ・今年度フロンティアセミナーは2019/2/17に, 2018年度予算で行う。

2. 会計第15期上期予算案(竹広財務専門委員長)

- ・収入は2018年度と大きな変更なし。
- ・遊星人印刷費180万円の要望に対し, 165万提示。
- ・EPS誌への出資：例年の20万に加え, 一時金要請20万
- ・提案予算は約87万円の赤字(昨年度より16万円の赤字増)
- ・予算段階の赤字が多いので減らせないかとの意見が出た。秋季講演会の参加費等の一部をサーバー使用料として徴収する形にして, 健全な収支にすることも検討するべきではとの意見が出た。遊星人の紙媒体での出版を止めることも検討するべきではとの意見も出た。

3. 自然災害に伴う会費免除措置等について(竹広財務専門委員長)

現時点で2名の申請がある。早めの申請を。

4. 入退会について(諸田総務専門委員長)

2018/10/14現在, 正会員数609名で, 2016年以降横ばい。賛助会員数は3, 名誉法人数は7(1法人が退会)。

5. その他総務からの案件(議長・書記等)(諸田総務専門委員長)

議長に寫生有理会員, 書記に黒崎健二会員を推薦するとの報告がなされた。

6. シニア会員の開始時期について(諸田総務専門委員長)

1月初旬までシニア会員への申請を受け付け, 1月中旬に運営委員会での審議(1週間程度)。12/28頃に新役

員が決定するので、12月下旬－1月上旬の日程でシニア会員申請期間を行う。1/11－18の運営委員会で承認する予定。周知は早めに行う。今後は、申請のたびにその都度承認する。すでに退会した会員には、基本的には口コミで伝え、Webニュースと遊星人でも周知する。想定される会費収入減にどう対応するため、シニア会員から寄付を呼びかけてもいいのではとの意見が出た。

7. 役員選挙について(諸田総務専門委員長)

今後の選挙の流れについて説明がなされた。総会でも説明を行う。新設の連続選出制限の規定により、13名を被選挙人から除外する。

8. 遊星人の発行状況報告(和田編集専門委員長)

書面による報告がなされた。遊星人はつつがなく発行されている。Vol.27 No.3(9月号)においては、「火星圏のサイエンス」特集が生まれ、玄田ゲストエディタの差配のもと13本の論文が掲載された(No.4にも追加論文が掲載予定)。このことは学会員の活発な活動の現れであり、今後の火星圏サイエンスを盛り上げるうえで重要なものとなると考える。ただし、結果として印刷出版費用がかさむこととなり、特集号を組む時に配慮すべき課題の一つであると改めて認識した。

9. 2018年秋季講演会報告(倉本2018年秋季講演会組織委員)

秋季講演会の開催にあたって、旭川市から全面的な協力をいただいた。科学館の利用料は無料。ポスターや横断幕も作っていただいた。講演会には170名の参加者があり、つつがなく進行している。

10. 2019年秋季講演会実施案(竹広2019年秋季講演会組織委員)

日程は2019/10/7－10/9、場所は京産大上賀茂キャンパス・神山ホール。京産大に学会開催の補助を申請できる。委員長は河北秀世会員。宿の手配はお早めに。

11. 日本地球惑星科学連合の報告(荒川会長)

第19回学協会長会議の報告がなされた。学会・講演会の天災などへの対応について議論があったとのこと。2020年JpGUは連合大会AGUと共催。2021年は横浜で開催する。

12. EPSへの一時出資について(荒川会長)

- ・EPS誌の赤字を解消するため、一時出資が要請されている。
- ・EPS臨時拡大会議にて、EPS誌を将来的に5学会とJpGUで共同発行するという合意の確認がなされた。科研費の申請については、EPS誌とPEPS誌で一本化してJpGUより国際情報発信強化Aに申請する。
- ・黒字が出た場合は出資金が返還される。返還の方法について議論がなされた。
- ・運営委員会は一時金の出資を承認した。

13. 文科省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」への会津大学の応募(平田委員)

会津大学が「月惑星アーカイブサイエンス拠点」を提案する際に、惑星科学会より学会長名でのサポートレターを発出してもらいたいとの要請があった。運営委員会はこれを承認した。

14. RFI回答文書改定のための検討会の報告(千秋惑星探査専門委員長)

マスタープランや宇宙研での議論と歩調を合わせるため、2月に改訂版をアウトプットする方針。主査は

倉本会員，事務局に玄田会員。

15. その他

- ・林委員より，委託している学会ウェブサーバの維持が難しくなっていることが報告された。5年程度のうちにシステムへ移行することを考える必要がある。
- ・中島部会長より，ポスター発表の3分トークについて報告がなされた。今後は，今回実施したアンケートの集計結果を見ながら運用していく。2020年の秋季講演会LOCは会津大学に引き受けていただいた。
- ・学生会員が少ないことについて意見が出た。

16. 最優秀発表賞受賞者の決定(田中中学会賞選考委員長)

12名の応募があり，10名を選考対象とした。アブストラクト・発表・科学的評価に基づいた採点で4名に絞り込み，決選投票で富永遼佑会員が受賞者として推薦された。運営委員会はこれを承認した。

◇日本惑星科学会第50回総会議事録

日 時：2018年10月18日(木) 16：40 - 17：40

場 所：旭川市科学館サイバル1階学習・研修室

〒078-8329 北海道旭川市宮前1条3丁目3番32

正会員：609名

定足数：61名

参加人数：117名(開会時)(これに加えて非会員の傍聴者6名) > 118名(議事3.1採択時) > 120名(議事3.2採択時)

委任状：67通(ただし，内1通分は提出者が総会に参加したため無効。議長：65通，保井みなみ会員：1通)

1. 開会宣言

諸田総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に寫生有理会員，書記に黒崎健二会員が選出された。

3. 議 事

3.1 第14期下期(2018年度)中間報告

3.1.1 会計報告(竹広財務専門委員長)

特に問題なく順調であったことが報告された。

3.1.2 日本惑星科学会会則の改定について(諸田総務専門委員長)

シニア会員制度にともなう会則の改定について説明された。シニア会員制度は2019年度(2019年1月)から開始することとし，申請期間は2018年12月下旬から2019年1月上旬を検討していることが報告された。

3.1.3 各種専門委員会報告

特になし

・採択

第14期下期活動報告の採択が行われ、賛成：183(うち出席者117)、反対：0、保留：1により採択された。

3.2 第15期上期(2019年度)予算案

・説明(竹広財務専門委員長)

予算状況は問題なく執行できている旨が報告された。消費税が10%増額になることから、今後は厳しくなることが懸念される。

・EPSへの一時出資(荒川会長)

一時的にEPSに20万円出資することについての説明がされた。平成30年に科研費不採択をうけて、平成32年度の黒字化を目指し、出資が要請されている。臨時融資分は分担金同様の分担比率(惑星科学会は20万)。出資時期は平成31年度10月頃とする。

2018/9/28 EPS臨時拡大会議の結果について説明がされた。5学会とJpGUで共同発行する。EPS誌とPEPS誌の取組を一本化して国際発信強化Aに申請することとした。

・質疑応答及び討論

* 予算説明に関して

特になし

* EPSへの一時出資に関して

Q. 投稿料1200ユーロに増額して、投稿数が増加するのか？ 惑星科学会は今後もEPS誌を使うべきか？

A. オープンジャーナルでこの値段は安いほうであり、オープンジャーナルであるEPS誌から特集号を組むなど、惑星科学会として情報発信を強化すべきである。

Q. 将来的に“損切り”も考えるべきではないか？ 今後も費用負担が増額する可能性はあるのではないか？

A. 惑星科学会から、一時出資は一度のみと通達してある。しかし、SGEPPSや惑星科学会も積極的に支える姿勢を示している。

・採択

第15期上期予算案の採択が行われ、

賛成：184(うち出席者118)、反対：2、保留：0により採択された。

4. 報告事項

4.1 自然災害に伴う会費免除措置について(竹広財務専門委員長)

自然災害で「災害救助法適用地域」に該当される方へ周知する旨を報告された。9月下旬にMLにてアナウンス済。2019年1月中旬に申請締め切りの予定。

4.2 学会賞授賞式：2016年度最優秀研究者賞および2017年度最優秀発表賞(田中学生会賞選考委員長)

10名の方々が10/17の午前中に口頭発表、午後にはポスター発表が行われ、選考委員8名で慎重に審査した結果、最優秀発表賞に名古屋大学の富永遼佑会員が選ばれた。

4.3 2018年秋季講演会の報告(関口2018年秋季講演会組織委員長)

講演会及び懇親会の参加人数などアナウンスがなされた。講演会参加人数：117名+7名

4.4 2019年秋季講演会の案内(竹広2019年秋季講演会組織委員)

来年度の秋季講演会2019年10/7(月)から10/9(水)の間、京都産業大学上賀茂キャンパス(会場：神山ホ

ール)で実施予定である旨の報告がなされた。LOC委員長は河北秀世(京産大)。委員は京産大と京大でメンバー構成予定。

4.5 役員選挙の案内(諸田総務専門委員長)

第15期役員選挙についての日程について報告があった。

4.6 その他

RFI回答文書に関する報告(千秋惑星探査専門委員長)

RFI回答文書に関する議論を行い、その決定事項について報告があった。告知内容についてomlで報告予定である。

4.7 フロンティアセミナーに関する報告(千秋委員)

2/17-2/20 山岸教授(東京薬科大)を招待して実施予定である旨の報告があった。詳細は後日メールにて報告予定である。

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

諸田総務専門委員より閉会宣言がなされた。

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2019年3月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

有限会社テラパブ

Harris Geospatial 株式会社

株式会社ナックイメージテクノロジー

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a)場所, (b)主催者, (c)ウェブページ/連絡先など.

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません. 各自でご確認ください.

2019/05

5/26 - 5/30 日本地球惑星科学連合2019年大会

(a)千葉県幕張メッセ

(b)日本地球惑星科学連合

(c)http://www.jpгу.org/meeting_2019/

5/31 - 6/3 国際金星会議2019

(a)北海道ニセコ

(b)International Venus Science Community

(c)<https://www.cps-jp.org/~akatsuki/venus2019/>

2019/06

6/3 - 6/7 Magnetospheres of Outer Planets Conference 2019

(a)宮城県仙台市

(b)国際外惑星磁気圏研究グループ

(c)<http://pparc.tohoku.ac.jp/sympo/mop/>

6/15 - 6/21 第32回宇宙技術および科学の国際シンポジウム

(a)福井県福井市

(b)32nd ISTS Organizing Committee

(c)<http://www.ists.or.jp>